

えん ゆう

遠友だより

はっこう
発行
さっぽろえんゆうじゅく
札幌遠友塾
じしゅやかんちゅうがく
自主夜間中学



遠友塾

= 聴き入る朗読、ハープ演奏、みんなの歌声 =

～ 9月24日 特別授業の開催～



札幌市教育文化会館にて特別授業を実施しました。朗読家の工藤ひろ子さんによる朗読と S さんのアイリッシュハープやオカリナの演奏、そしてみんなで歌いました。とても素敵で味わい深いひとときでした。

○ 朗読

「流氷ほたるの海より：ある番屋守と沖縄戦を行った息子の物語」
「十本の松葉杖：7月15日の北海道空襲で足を失った母の物語」

○ アイリッシュハープの演奏 「埴生の宿、アニーローリー、庭の千草、愛燐々など」

○ みんなで歌おう 「里の秋、手のひらを太陽に、みんなの学び舎（札幌遠友塾の歌）など」

〈ひとこと感想を紹介します〉



受講生 Mさん

朗読で戦争で命を落とした息子を、生きて帰れないかもないと親は感じ取り、息子と漁に出て、送り出した気持ちがせつなかった。次にハープの音色が心に沁みました。オカリナのやさしく温かい音色には今生きてる事の不思議さを感じ、幸福に生きている今に心より感謝、素直に大事に生きようと思った。

スタッフ Iさん

亡き父が沖縄出征直前に横浜で終戦を迎えた。沖縄戦の北海道からの戦死者は二番目に多いです。北海道民は戦争、戦後の国策に振り回されています。とにかく戦争は嫌ですね。アイリッシュハープを生で聴くのは初めてでした。季節の余韻を感じる素晴らしい音色で、とても感動しました。お二人に素敵な時間をいただき有難うございました。懐かしい歌ばかりでした。

受講生 Mさん

工藤ひろ子さんの朗読はわかりやすく、やさしい語りで心があたたまりました。ハープはやさしくて心がなごみました。今日はとてもステキな夜でした。

受講生 Oさん

朗読はとても良かったです。ていねいに一つ一つの言葉を正確に、感情をこめて発音されるのを聴いて、日本語も美しい言葉なんだとありました。また聴く機会を持てたらと希望します。アイリッシュハープの「埴生の宿」を聴いて、竹山道雄作の「ビルマのたて琴」のラジオ劇の中で演奏された音色を思い出しました。60余年前のことです。朗読もハープも戦争が共通していて、美しいのに悲しいです。

スタッフ Uさん

「流氷ほたるの海」、淡淡とした語り口に臨場感があった。初めと終わりに入った音楽で物語と現実が隔てられていると感じた。ハープを初めて生で聴いた。弦から音符が流れ出てくるような心地良さがあった

スタッフ Iさん

ステキな夕べでした。ハープの音は心にしました。いろいろな歌も一緒に歌えてよかったです。戦後80年をとりあげて企画して下ったことに感謝です。朗読を聴くことはめったにありません。なかなかいいものだと感じました。

三 賛助会費等のご寄付、本当にありがとうございます！ =



10月にご寄付を頂いた方からのメッセージをご紹介します。

「<Fさん：札幌市> 誰もが幸せになれますように。ほんの気持ちです。」



社会見学 北海道ノーモア被爆者会館へ

～ 2025年10月12日 43名の参加 ～

社会科スタッフ担当の今年度の社会見学が実施されました。札幌市白石区にある「北海道ノーモア被爆者会館」の見学でした。戦後80年の節目の見学となりました。DVD「10秒間の衝撃」「平和の祈り」の鑑賞、語り部の「宮本須美子さん（長崎で被爆）」のお話、展示物の見学という内容でした。参加者の皆さん的一言感想を紹介します

<受講生さんから>

- 悲しい、人間としてゆるせない。言葉が出ないくらい。
- どうして人間どうしが戦うのか。また同じことをやるのか。
- 言葉が出ない。悲しくなった。親戚からだれも戦争のことを聞いた



ことがない

- 自分たちにできることはないか、考えたい。

<スタッフから>

- 原爆ドーム模型、きのこ雲の模型など、若い世代がいい仕事をしていることに感動。被爆者、支援者の講話も素晴らしい。広島、長崎原爆資料館を見にいったが、規模の小さい札幌の資料館も見応えがあった。小学生を連れて再び訪れたい。

「10. 6全ての義務教育未修了者の学習権保障を！」

早急な夜間中学全国設置と教育機会確保法改正へ」国会院内集会に参加！

～衆議院第一議員会館にて～

10月6日東京の衆議院第一議員会館にて行われた集会に、札幌遠友塾から6名（工藤慶一さん、工藤朱美さん、鹿沼秀夫さん、成田昌子さん、横関理恵さん、黒澤晴一さん）が参加しました。国会議員20名、地方議会議員5名を含む全国からの多くの参加でした。工藤慶一さんが「自主夜間中学と公立夜間中学の協働とその意義」と題して報告しました。映画「35年目のラブレター」のモデルとなった西畠保さんの体験発表もありました。



～報告する工藤さん（左で起立）～